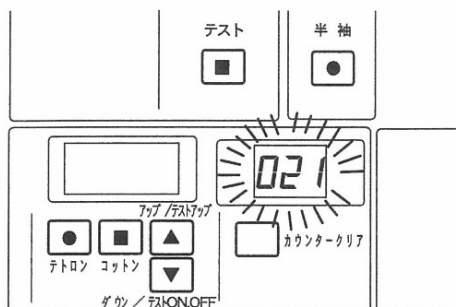


故障かな？と思ったら

機械が、動作中に停止したり次の工程に進まない時、アラーム音が鳴りカウンター表示窓にエラー点滅表示がでます。表示は、下図を参照してください。

エラー番号を確認したら、下記の表で内容を確認のうえ対応してください。

簡単な点検で正常に戻らない場合は、販売代理店または当社相談窓口へ連絡してください。



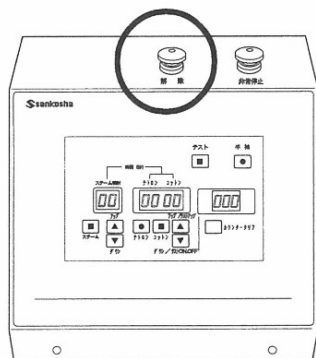
エラー番号

発生原因・発生内容

対応策・復帰方法

011

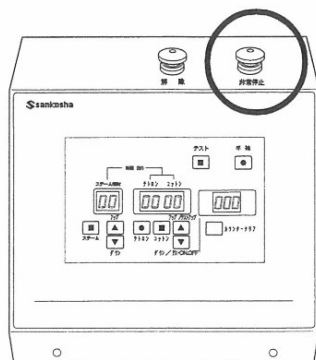
- ・スライド右端センサー関係不良
前コテスライド戻り不良又はエア
圧力不足



解除ボタンを押して前コテを右端方向へスライドさせて下さい。
スライドさせてもエラー42が表示されま
したら42センサーを交換又は点検して下さい。
エア圧力を確認してください。(0.6MPa)

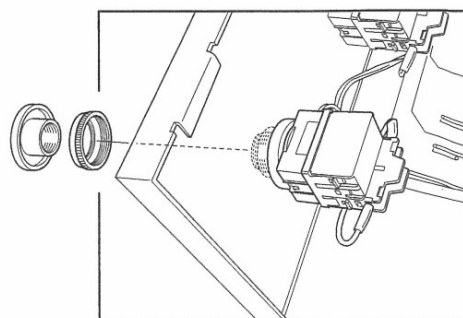
021

- ・電気BOX上非常停止スイッチ関係不良
動作中に非常停止ボタン押した場合
非常停止ボタン又は配線関係不良



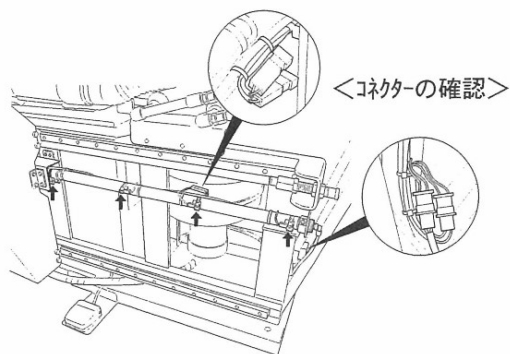
再度、電源を入れ直してください。
非常停止ボタンを交換・点検してください。

コネクタ、配線の導通確認し不良箇所を発
見し処置する。又は、スイッチ交換。



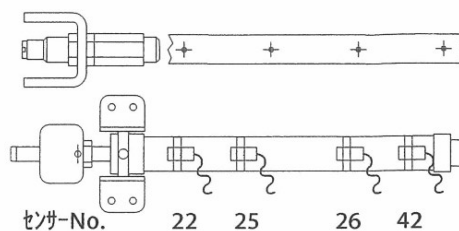
022

- ・スライド左端センサー関係不良
前コテが正位置にある時
…センサー(D-B73)又は配線関係不良



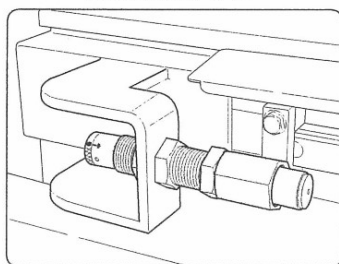
センサー又は配線関係を交換・点検してください。

1. センサーの位置出し確認(左端定位置でLD22が点灯する位置)
2. センサー及び断線の導通を確認し、導通がなければ交換する。
3. きちっと当たるように、位置を決め取付ネジを締め込む。



前コテが誤位置にある時…

左端ショックアブソーバー

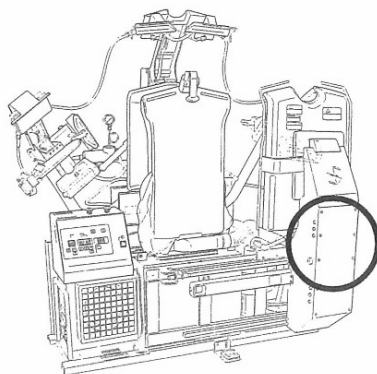


関連箇所を交換・点検してください。

1. ショックアブソーバー調整ナット増し締め。
2. スライドシリンダーの調整。
3. レギュレーター圧力調整(0.4MPa)。

023

- ・前コテ戻り位置センサー関係不良
前コテが正位置にある時
…センサー又は配線関係不良



センサー又は配線関係を交換・点検してください。

1. センサーのパイロットが点灯するところに位置をずらし、固定する。
2. 導通・コネクタを調べ、不良箇所を発見し、処置する。

023

前コテが誤位置にある時
 ……電磁弁/基板関係不良
 ……スピコン/シリンダー不良
 ……エア圧力不足

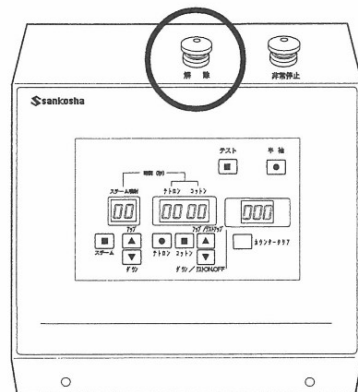
電磁弁／基板関係を交換・点検してください。

スピコン/シリンダーを交換・点検してください。
 圧力が規定圧力あるか確認してください。

- 1.基板上の入力LD28と29又は、34が点灯し、出力側LD12も点灯していれば電磁弁又は配線不良なので交換する。
 入力側が点灯し出力側が点灯していなければ基板を交換する。
- 2.スピコン/シリンダーを交換する。
- 3.エア圧力を0.6MPaにする。

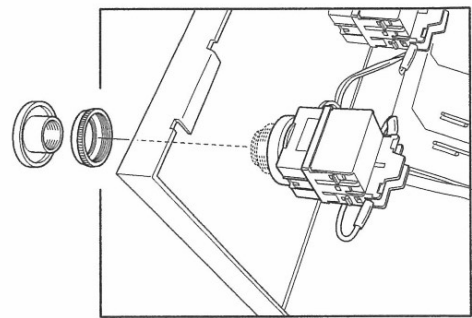
024

・解除スイッチ関係不良
 解除スイッチ又は配線関係不良



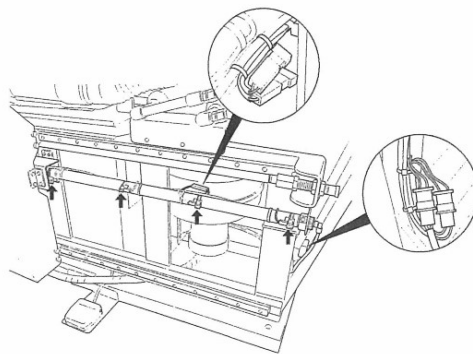
解除スイッチ又は配線関係を交換・点検してください。

コネクタ、配線の導通確認し不良個所を発見し処置する。又は、スイッチ交換。



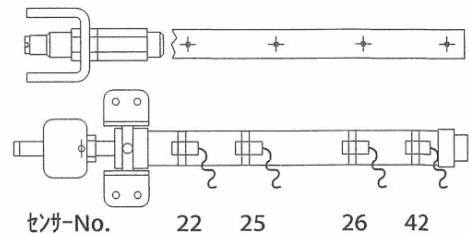
025

・スライド左L1(減速)センサー関係不良
 センサー(D-B73)関係不良



センサー(D-B73、センサーNo. 25)関係を交換・点検してください。

センサー及び断線の導通を確認し、導通がなければ交換する。



026

・スライド右R1(減速)センサー関係不良
 センサー(D-B73)関係不良

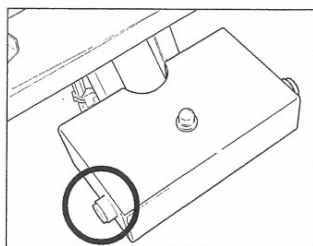
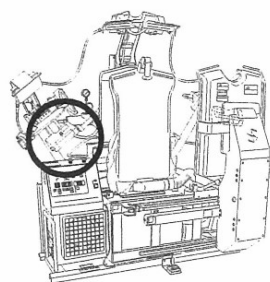
センサー(D-B73、センサーNo. 26)関係を交換・点検してください。

センサー及び断線の導通を確認し、導通がなければ交換する。

027

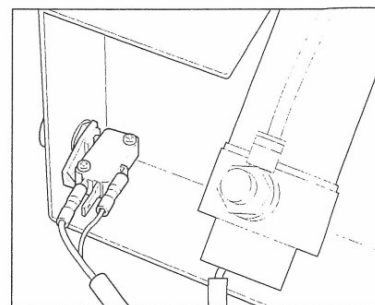
・左カフススイッチ関係不良

左カフス左スイッチ又は配線関係不良



左カフス左スイッチ又は配線関係を交換・点検してください。

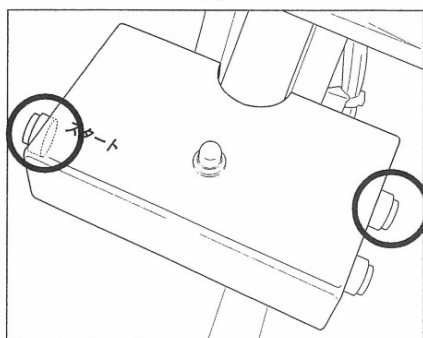
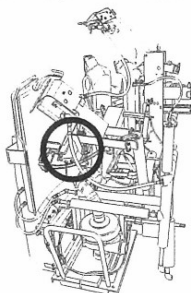
- 1.手でスイッチを何回も強く押し、ショックを与え、ゴミ・被膜などを取り除く。
- 2.導通を調べ、不良箇所を発見し、処置する。
- 3.コネクタの入り具合や、ピンの圧着状態を調べ、不良箇所を発見し、処置する。
- 4.スイッチを交換する。



028

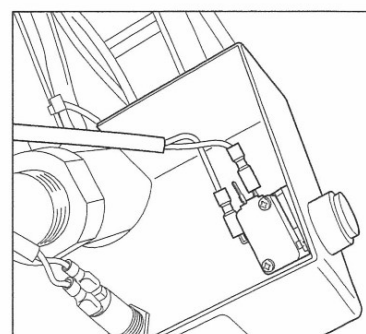
・右カフススイッチ関係不良

右カフス左スイッチ又は配線関係不良



右カフス左スイッチ又は配線関係を交換・点検してください。

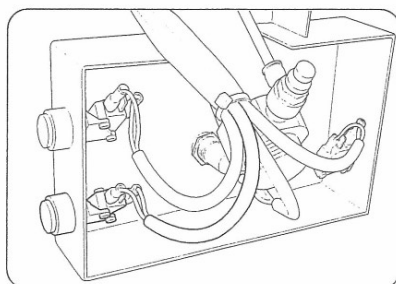
- 1.手でスイッチを何回も強く押し、ショックを与え、ゴミ・被膜などを取り除く。
- 2.導通を調べ、不良箇所を発見し、処置する。
- 3.コネクタの入り具合や、ピンの圧着状態を調べ、不良箇所を発見し、処置する。
- 4.スイッチを交換する。



029

・右カフススタート小スイッチ関係不良

右カフススタート小スイッチ又は配線関係不良

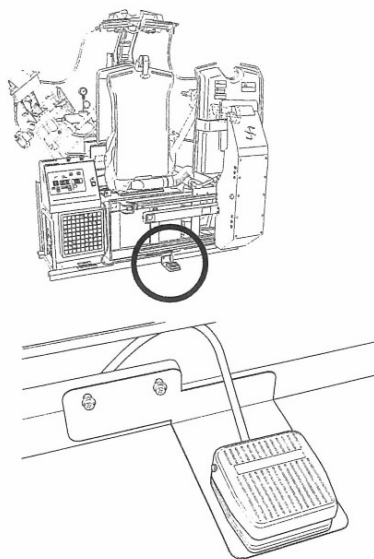


右カフススタート小スイッチ又は配線関係を交換・点検してください。

- 1.手でスイッチを何回も強く押し、ショックを与え、ゴミ・被膜などを取り除く。
- 2.導通を調べ、不良箇所を発見し、処置する。
- 3.コネクタの入り具合や、ピンの圧着状態を調べ、不良箇所を発見し、処置する。
- 4.スイッチを交換する。

030

- ・フットペダルスイッチ関係不良
フットペダル又は配線関係不良

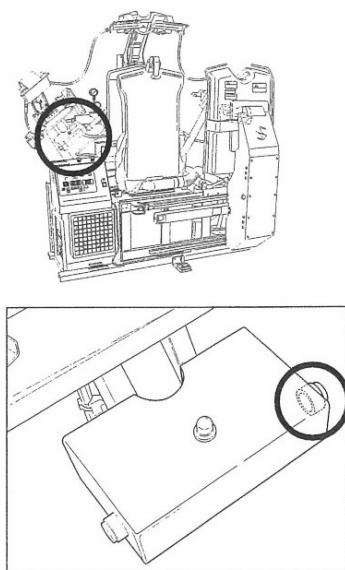


フットペダル又は配線関係を交換・点検してください。

- 1.フットペダルの中のゴミを取り除き、スイッチ部分を清掃する。
- 2.配線の導通やコネクターの入り具合を調べ、不良箇所を発見し、処置する。
- 3.フットペダルを交換する。

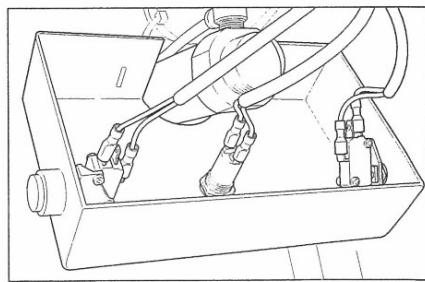
031

- ・左カフス右スイッチ関係不良
左カフス右スイッチ又は配線関係不良



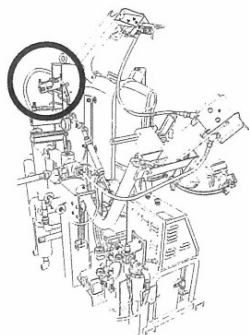
左カフス左スイッチ又は配線関係を交換・点検してください。

- 1.手でスイッチを何回も強く押し、ショックを与え、ゴミ・被膜などを取り除く。
- 2.導通を調べ、不良箇所を発見し、処置する。
- 3.コネクターの入り具合や、ピンの圧着状態を調べ、不良箇所を発見し、処置する。
- 4.スイッチを交換する。



032

- ・肩コテプレス位置センサー関係不良
肩コテが正位置にある時・・・センサー(D-B73)又は配線関係不良

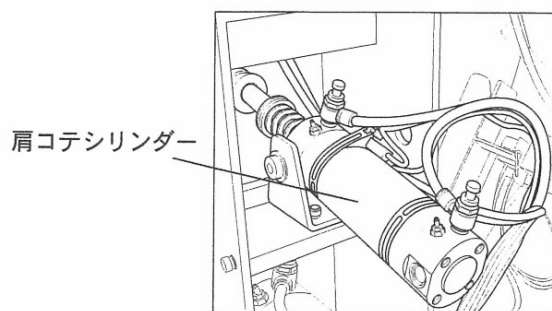


センサー又は配線関係を交換・点検してください。

- 1.センサーのパイロットが点灯するところに位置をずらし、固定する。
- 2.導通・コネクターを調べ、不良箇所を発見し、処置する。

肩コテが誤位置にある時

- …電磁弁/基板関係不良
- …スピコン/シリンダー不良
- …エア圧力不足



電磁弁／基板関係を交換・点検してください。

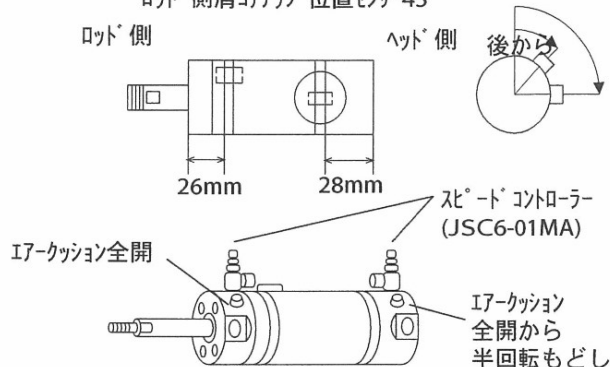
スピコン／シリンダーを交換・点検してください。

圧力を0.6 Mpa にしてください。

- 1.基板上の入力LD27と31が点灯し、出力側LD3も点灯していれば電磁弁又は配線不良なので交換する。
入力側が点灯し出力側が点灯していなければ基板を交換する。
- 2.スピコンシリンダーを交換する。
(エアークションのゴミつまりを清掃する)
- 3.エア圧力を0.6MPaにする。

＜磁気センサー位置＞

ヘッド側肩コテアップ位置センサー-90°
ロッド側肩コテアップ位置センサー-45°



033

・肩コテアップ位置センサー関係不良

肩コテが正位置にある時…センサー
(D-B73)又は配線関係不良

肩コテが誤位置にある時

- …電磁弁/基板関係不良
- …スピコン/シリンダー不良
- …エア圧力不足

センサー又は配線関係を交換・点検してください。

- 1.センサーのパイロットが点灯するところに位置をずらし、固定する。
- 2.導通・コネクターを調べ、不良箇所を発見し、処置する。

電磁弁／基板関係を交換・点検してください。

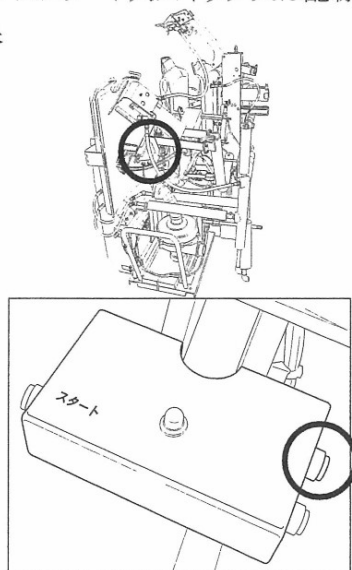
スピコン／シリンダーを交換・点検してください。

圧力が規定圧力あるか確認してください。

- 1.電磁弁不良又は配線不良は交換する。
基板不良は交換する。
- 2.スピコンシリンダーを交換する。
(エアークションのゴミつまりを清掃する)
- 3.エア圧力を0.6MPaにする。

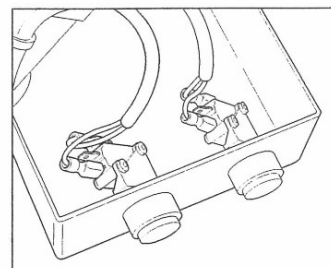
034

- ・右カフススタート大スイッチ関係不良
右カフススタート大スイッチ又は配線関係不良



右カフススタート大スイッチ又は配線関係を交換・点検してください。

- 1.手でスイッチを何回も強く押し、ショックを与え、ゴミ・被膜などを取り除く。
- 2.導通を調べ、不良箇所を発見し、処置する。
- 3.コネクターの入り具合や、ピンの圧着状態を調べ、不良箇所を発見し、処置する。
- 4.スイッチを交換する。



035

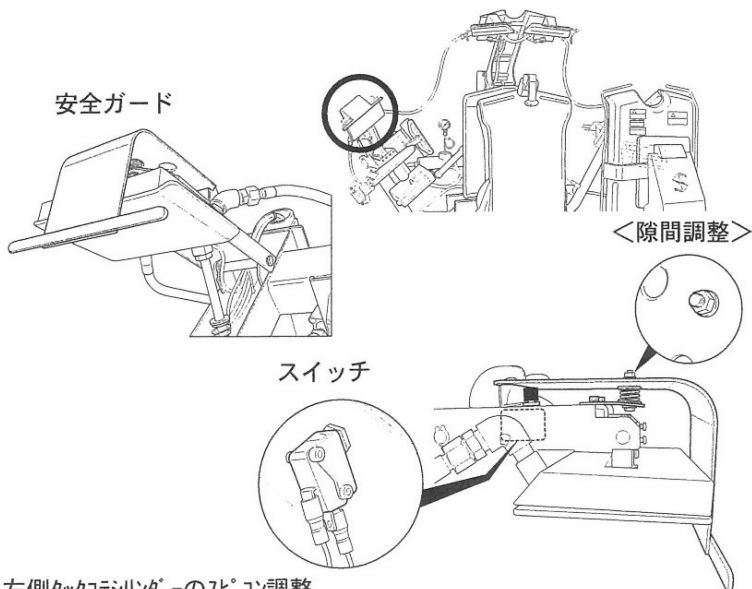
- ・タックコテ左緊急スイッチ関係不良
タックコテ左緊急停止スイッチ又は配線関係不良
スイッチがON状態になっている

左側タックコテ作動ショックが大きい

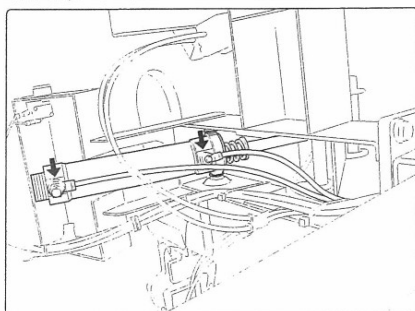
タックコテ左緊急停止スイッチ又は配線関係を交換・点検してください。

安全ガードとスイッチの隙間を調整してください。

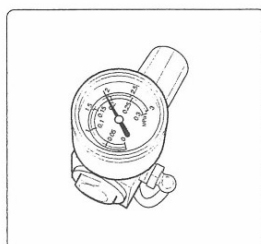
左側タックコテシリンダーのスピコンを調整してください。



左側タックコテシリンダーのスピコン調整

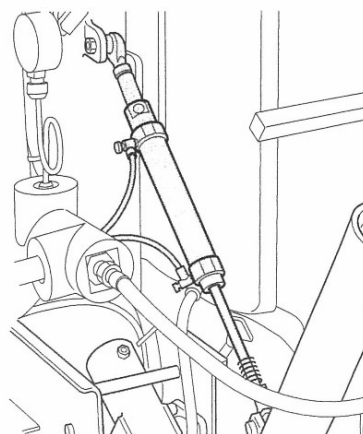


スリーブアーム用レギュレータ



- 1.安全ガードとスイッチの隙間調整(約1mm)。
- 2.導通を調べ、不良箇所を発見し、処置する。
- 3.コネクターの入り具合や、ピンの圧着状態を調べ、不良箇所を発見し、処置する。
- 4.スイッチを交換する。
- 5.左側タックコテシリンダー、スピコン調整(右側タックコテが問題なければ、それに合わせる)
- 6.左側スリーブアームシリンダーのスピコン調整。
- 7.スリーブアーム用のレギュレータ不良(交換)、調整(0.15MPa)。

左側スリーブアームシリンダーのスピコン調整



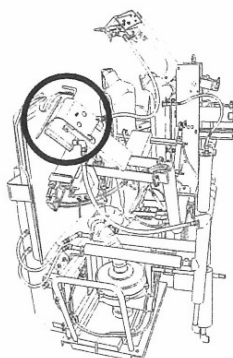
036

・タックコテ右緊急スイッチ関係不良

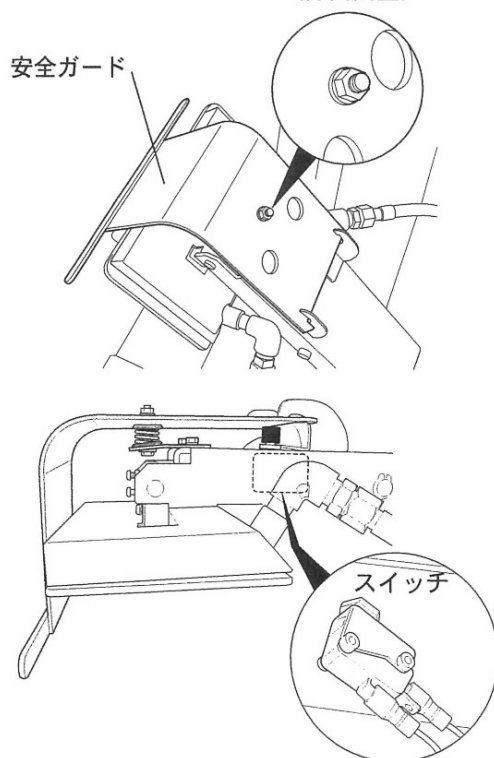
タックコテ右緊急停止スイッチ又は配線関係不良

スイッチがON状態になっている

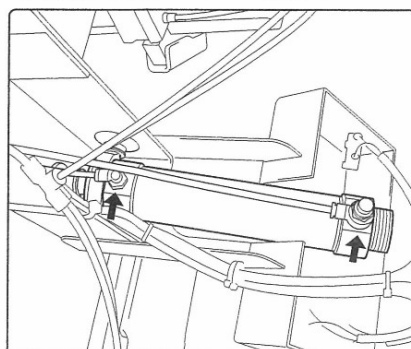
右側タックコテ作動ショックが大きい



＜隙間調整＞



右側タックコテシリンダーのスピコン調整



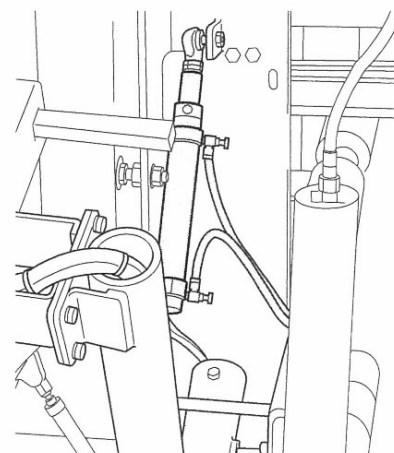
タックコテ右緊急停止スイッチ又は配線関係を交換・点検してください。

安全ガードとスイッチの隙間を調整してください。

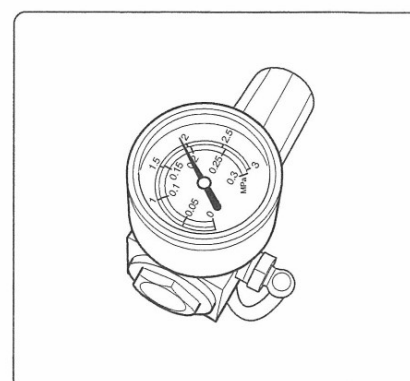
右側タックコテシリンダーのスピコンを調整してください。

- 1.安全ガードとスイッチの隙間調整(約1mm)。
- 2.導通を調べ、不良箇所を発見し、処置する。
- 3.コネクタの入り具合や、ピンの圧着状態を調べ、不良箇所を発見し、処置する。
- 4.スイッチを交換する。
- 5.右側タックコテシリンダー、スピコン調整(左側タックコテが問題なければ、それに合わせる)
- 6.右側スリーブアームシリンダーのスピコン調整。
- 7.スリーブアーム用のレギュレータ不良(交換)、調整(0.15MPa)。

右側スリーブアームシリンダーのスピコン調整



スリーブアーム用レギュレータ



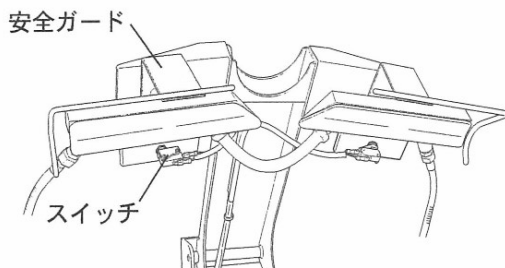
037

・肩コテ左緊急スイッチ関係不良

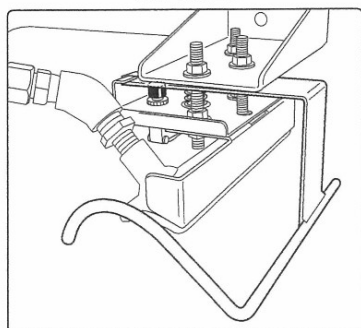
肩コテ左緊急停止スイッチ又は配線関係不良

スイッチがON状態になっている

肩タックコテ作動ショックが大きい



<隙間調整>



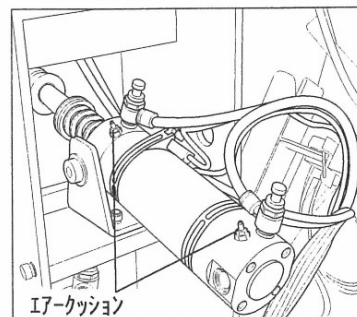
肩コテ左緊急停止スイッチ又は配線関係を交換・点検してください。

安全ガードとスイッチの隙間を調整してください。

肩コテシリンダーのスピコンを調整してください。

- 1.安全ガードとスイッチの隙間調整(約1mm)。
- 2.導通を調べ、不良箇所を発見し、処置する。
- 3.コネクターの入り具合や、ピンの圧着状態を調べ、不良箇所を発見し、処置する。
- 4.スイッチを交換する。
- 5.肩コテシリンダー、スピコン調整。
(エアークッションのゴミつまりを清掃する)

肩コテシリンダーのスピコン調整



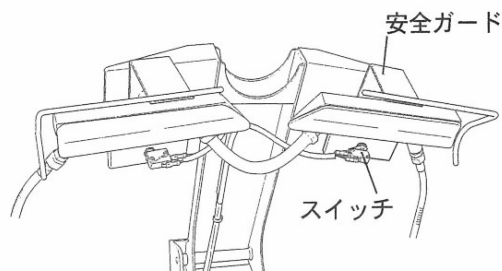
038

・肩コテ右緊急スイッチ関係不良

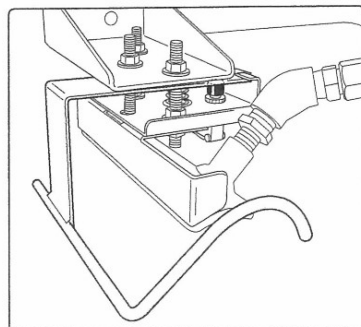
肩コテ右緊急停止スイッチ又は配線関係不良

スイッチがON状態になっている

肩タックコテ作動ショックが大きい



<隙間調整>



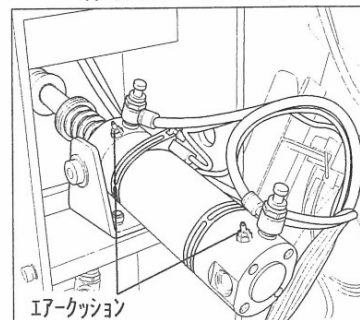
肩コテ右緊急停止スイッチ又は配線関係を交換・点検してください。

安全ガードとスイッチの隙間を調整してください。

肩コテシリンダーのスピコンを調整してください。

- 1.安全ガードとスイッチの隙間調整(約1mm)。
- 2.導通を調べ、不良箇所を発見し、処置する。
- 3.コネクターの入り具合や、ピンの圧着状態を調べ、不良箇所を発見し、処置する。
- 4.スイッチを交換する。
- 5.肩コテシリンダー、スピコン調整。
(エアークッションのゴミつまりを清掃する)

肩コテシリンダーのスピコン調整



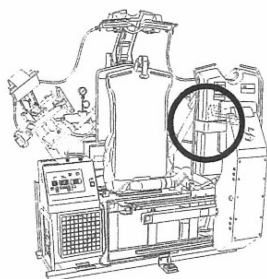
039

・前コテ左緊急スイッチ関係不良

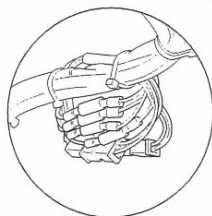
前コテ左緊急停止スイッチ又は配線関係不良

スイッチがON状態になっている

前コテ作動ショックが大きい



<コネクタの確認>



前コテ左緊急停止スイッチ又は配線関係を交換・点検してください。

安全ガードとスイッチの隙間を調整してください。
前コテスライドボリューム(VR1&2)を調整してください。

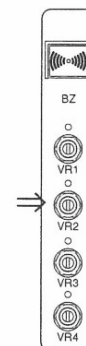
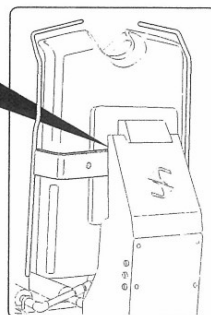
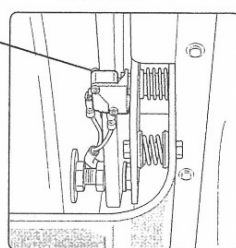
- 1.安全ガードとスイッチの隙間調整(約1mm)。
- 2.導通を調べ、不良箇所を発見し、処置する。
- 3.コネクタの入り具合や、ピンの圧着状態を調べ、不良箇所を発見し、処置する。
- 4.スイッチを交換する。
- 5.スライドボリューム調整 VR1&2
スライドレギュレータ0.4 MPaを確認してください。

安全ガード

<電気BOX内のVR調整>

<隙間調整>

スイッチ



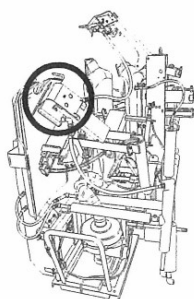
040

・前コテ右緊急スイッチ関係不良

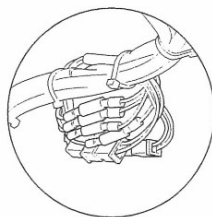
前コテ右緊急停止スイッチ又は配線関係不良

スイッチがON状態になっている

前コテ作動ショックが大きい



<コネクタの確認>



前コテ右緊急停止スイッチ又は配線関係を交換・点検してください。

安全ガードとスイッチの隙間を調整してください。
前コテスライドボリューム(VR1&2)を調整してください。

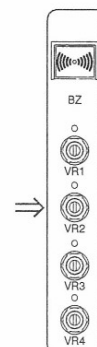
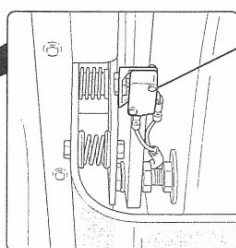
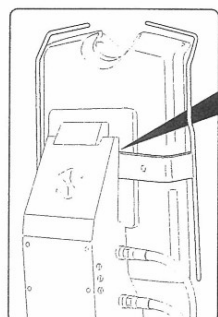
- 1.安全ガードとスイッチの隙間調整(約1mm)。
- 2.導通を調べ、不良箇所を発見し、処置する。
- 3.コネクタの入り具合や、ピンの圧着状態を調べ、不良箇所を発見し、処置する。
- 4.スイッチを交換する。
- 5.スライドボリューム調整 VR1&2
スライドレギュレータ0.4 MPaを確認してください。

安全ガード

<電気BOX内のVR調整>

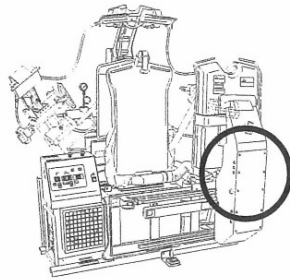
<隙間調整>

スイッチ



041

- ・前コテプレス位置センサー関係不良
 前コテがプレス位置にある時
 ……センサー又は配線関係不良



- 前コテがプレス位置にない時
 ……電磁弁/基板関係不良
 ……スピコン/シリンダー不良
 ……エア圧力不足

センサー又は配線関係を交換・点検してください。

1. センサーのパイロットが点灯するところに位置をずらし、固定する。
2. 導通・コネクターを調べ、不良箇所を発見し、処置する。
3. 前コテが押し切れないので、ボディネルの厚さを調節する。

電磁弁/基板関係を交換・点検してください。
 スピコン/シリンダーを交換・点検してください。
 圧力が規定圧力あるか確認してください。

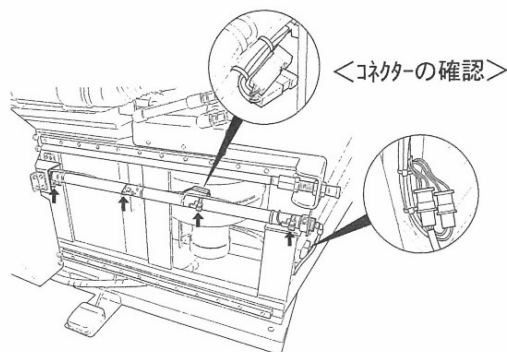
1. 基板上の入力LD28と29又は、34が点灯し、出力側LD12も点灯していれば電磁弁又は配線不良なので交換する。
 入力側が点灯し出力側が点灯していなければ基板を交換する。
2. スピコン/シリンダーを交換する。
3. エア圧力を0.6MPaにする。

042

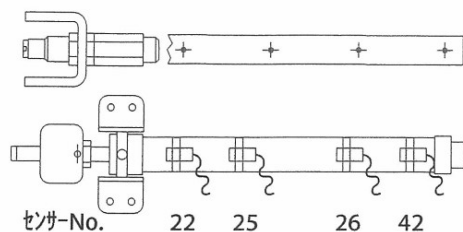
- ・スライド右端センサー関係不良
 前コテが右側にある時
 ……ショックアブソーバーの弛み
 ……スライドシリンダーセンサー
 又は配線関係不良

ショックアブソーバーを締め付けてください。

スライドシリンダーセンサー又は配線関係を交換・点検してください。

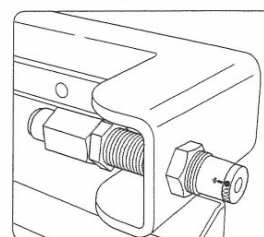


1. ショックアブソーバー調整ナット増し締め。
2. センサーの位置出し確認(右端定位置でLD42が点灯する位置)。
3. センサー及び断線の導通を確認し、導通がなければ交換する。
4. コネクターのメスピンの状態を調べ、不良箇所を発見し、処置する。



前コテが右側がない時・・・エア圧力不足
・・・スライド電磁弁／基板
又は配線関係不良

右端ショックアブソーバー



圧力が規定圧力あるか確認してください。
スライド電磁弁／基板又は配線関係を交換・
点検してください。

- 1.レギュレーター圧力の調整(0.4MPa)
- 2.電磁弁交換又は、配線接触不良箇所を発見し、
修理する。
- 3.基板の不良(LD10が点灯していない)、交換
する。

●エラーNo.が表示されないトラブルについて

①前コテスライドのショックが大きい

- ①周囲温度によるLMガイド滑りの変化
- ②左側スライドセンサー25番のずれ
- ③センサー配線の接触不良、及びセンサー自
体の不良
- ④シリンダーロッド部のエア漏れ
- ⑤エア圧力不足
- ⑥ショックアブソーバー不良
- ⑦右側スライドセンサー26番のずれ

電気BOX内のボリューム VR1,2を調整する。

スライドセンサー25番を調整する。

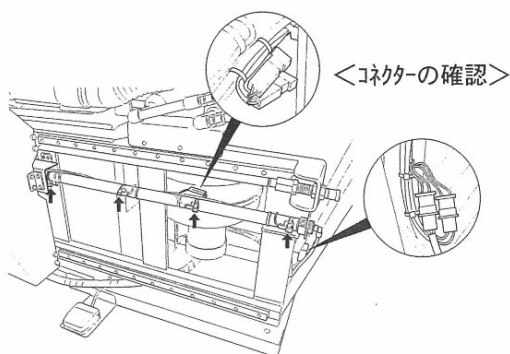
センサー配線の交換、及びセンサーの交換。

スライドシリンダーの交換。

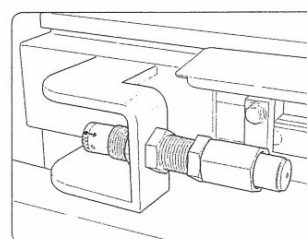
レギュレーター圧力の調整(0.4MPa)

ショックアブソーバーの調整。

スライドセンサー26番を左右どちらかに調整する。

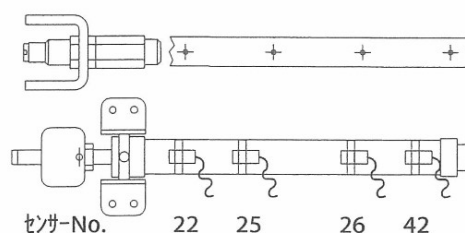
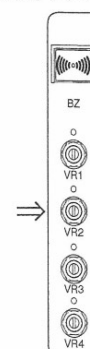
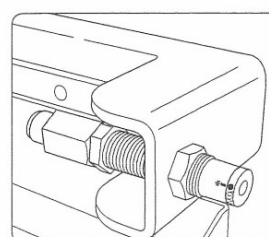


左端ショックアブソーバー



＜電気BOX内のVR調整＞

右端ショックアブソーバー



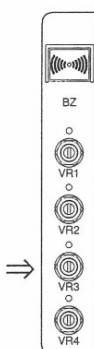
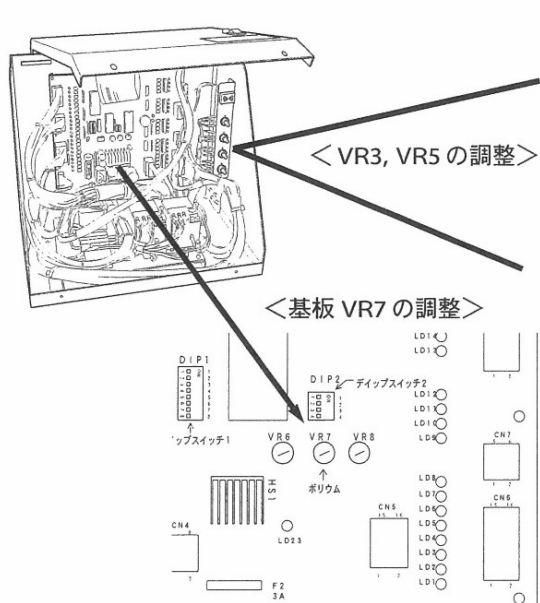
【注記】動きが不安定な場合、グリス補給を行ってください。

②ワイシャツ前立てが湾曲する

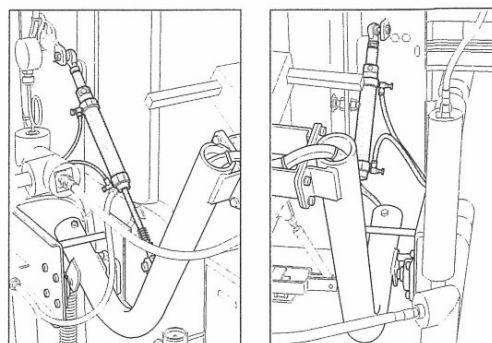
- ①アームの開くタイミングが早い。 正常動作は前コテがボディに当たると同時に降下を始める。
- ②脇張りスタートのタイミングが早い。
- ③スタートスイッチの選択ミス。
小さなものに「大スタート」を選択
- ④エアー漏れ
脇張りシリンダ^{*}「ロッド」側、継手よりスピコン間

前コテがボディに当たると同時に下降するようにVR7を右にまわす。

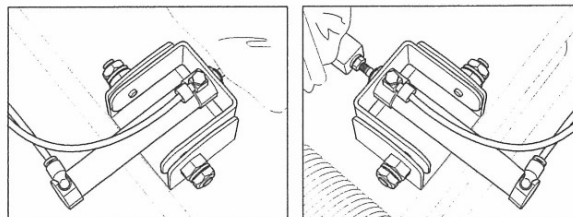
大スタートの時: VR3 小スタートの時: VR1を右に回し、タイミングを調整する。
ワイシャツにあった選択をする。
小さなものには「小スタート」を選択する。
エアー漏れをなくす。



＜スリーブアームシリンダ確認＞



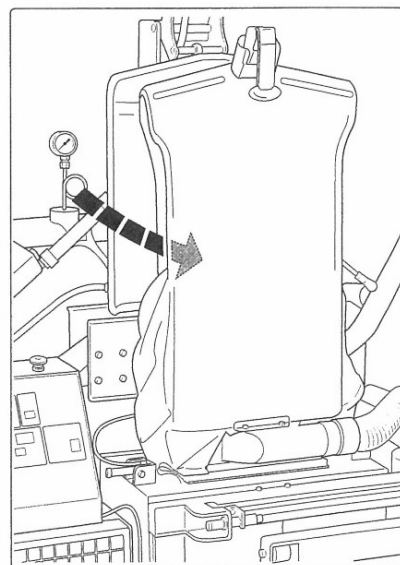
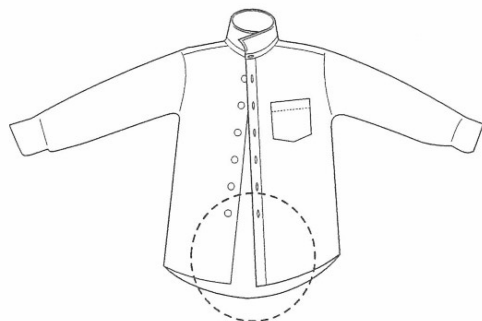
＜脇張りシリンダ確認＞



③ワイシャツの左右前裾にシワが入る

- ①スタートスイッチ「大」を押すのを、「小」を押した。

スタートスイッチ「大」を押す。 又は、セット時にワイシャツ裾脇部をボディの中に押し込む。



④ワイシャツの前立て上部にシワが入る

自動ネック押えの機械に限って、前コテスライド時にスパイラルホースがフットスイッチを押してしまい、ネック押え解除され、仕上がりが悪くなる場合がある。

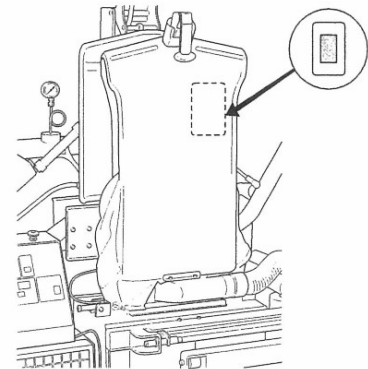
所定圧(メイン0.6MPa)にする。

又は、ボディにスチールパッド等を貼付し強くプレスされるようにする。

押圧不足



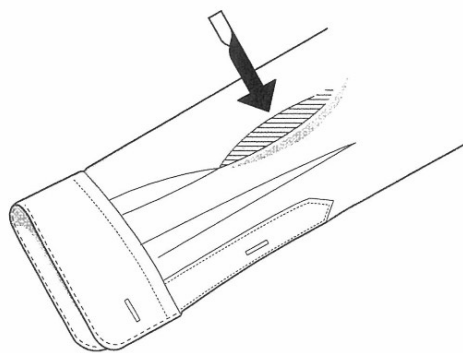
スチールパッドをシワの出る部分に入れる。



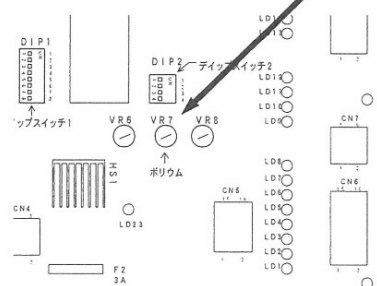
⑤スリーブタックがひっくり返る

①タックコテがプレスする前に、ブローアが回転し熱風が吹き出す。

基板上のVR7を左に回し、ブローアが回転し熱風が吹き出す前にタックコテがプレスするように調整する。
又は、VR4を右に回し、タックコテがプレスしてから、ブローアが回転するように調整する。



<基板 VR7 の調整>



<VR4 の調整>



⑥アームが下降する前にスリーブタックコテがプレスされる。

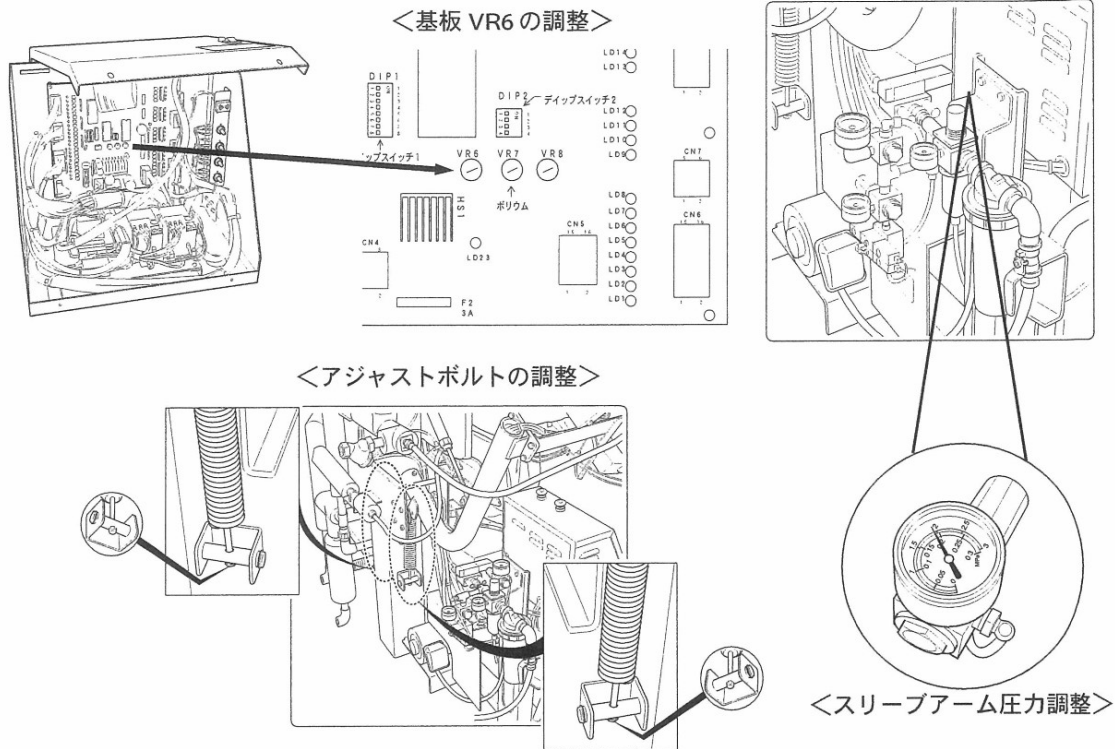
- ①エア圧力不足。
- ②電磁弁不良。
- ③アジャストボルトの締め込み過ぎ。
- ④アームの下降始動が遅い。

レギュレータを0.2MPaにする。

テストモード5としONにして、基板上のLD5が点灯している場合、電磁弁を交換する。

アジャストボルトを緩める。

前コテがボディに当たると同時にアームが始動するようにVR6を調整する。



⑦左右タックコテがプレスしない

- ①半袖モードがONになっている。
- ②電磁弁不良又は、配線の接触不良。

半袖モードをOFFにする。

テストモード5としONにして、基板上のLD11が点灯している場合、電磁弁又は、断線箇所を修理・交換をする。

